

<b>Course number</b>		U-LAS41 10001 PJ49					
<b>Course title (and course title in English)</b>	スポーツ実習ⅠA [サッカー・フットサル]			<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Part-time Lecturer, NAKAMURA TAISUKE		
	Sports I A [Soccer Futsal]						
<b>Group</b>	Health and Sports			<b>Field(Classification)</b>	Sports Training		
<b>Language of instruction</b>	Japanese			<b>Old group</b>	Group D		<b>Number of credits</b> 1
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Practical training (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	
<b>Days and periods</b>	Mon.1/Mon.2		<b>Target year</b>	All students		<b>Eligible students</b>	For all majors
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>本実技では、生涯スポーツの一つとしてサッカー競技を実践できることを目指すものである。地域や文化によって異なるサッカーのスタイルを「知り」、そして授業の中で個人レベル、さらには集団レベルでそれぞれのスタイルを「感じ」、自己の身体で「プレイ」していく。毎回異なる状況設定（環境・メンバー・自己のコンディション）のなかで、サッカーゲームに有する魅力を体感することと、ゲームを通じて自己の運動スキルの向上を目指していくものとする。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
<p>実際のゲームを「見て」楽しむことと、自らが「プレイ」して楽しむことのできるサッカー実践のスキルアップを目指す。</p> <p>サッカーのスキル・レベルは特に問題としない</p>							
<b>[Course schedule and contents)]</b>							
<p>授業はゲーム中心に展開する。その中で、毎回具体的なテーマをもとに取り組んでいく。（例 南米スタイル(ブラジル、アルゼンチン、メキシコ等)、ヨーロッパスタイルといった、各々のゲームスタイル及びプレイの感覚等）</p>							
<p>1      オリエンテーション</p> <p>2～6   個人戦術</p> <p>        ボールコントロール・オリエンテーション（コントロールと方向付け）</p> <p>        自己とボールの関係性（フィーリング）・ドリブル動作</p> <p>        ボールタッチとリズム・ターン動作（日本・ヨーロッパ・南米・アフリカ）・プレイングディスタンス(プレイの幅)</p> <p>        シュート感覚と実際のプレイ（動作）・スペースへの感覚・間合い</p> <p>        ゲーム</p> <p>7～10   集団戦術</p> <p>        フォーメーション（動き方）とコンビネーション（意図とタイミング）</p> <p>        ゲームスタイル・ゲームコンセプト・ゲーム(流れ)をよむ、楽しむ</p> <p>        ゲーム</p> <p>11～14   ゲーム戦術の実践</p> <p>        ゲームを中心に・システム及び戦術を考え実践</p> <p>        システム(ポジション)からゲームを考える</p> <p>        個人の意図で動くゲームと戦術の中で動くゲーム</p> <p>        攻撃と守備、守備と攻撃、守備と攻撃を一つに考える</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to スポーツ実習ⅠA [サッカー・フットサル](2)</div>							

## ゲーム

未経験者でも、授業の中である一定のレベル(ゲーム及び自己の意図するプレイが楽しめる)まで到達できます。授業のゲームではサッカー経験は問題としません。また、「みる」ことが好きな学生も、「なぜ、世界の人々がサッカーに魅了されるのか？されてきたのか？」ということ、是非自分の身体でプレイし実感してもらいたいと思います。生涯にわたってサッカーを実践できるスキルを身につけることはもちろんですが、地域や文化によって違うスタイルを歴史的、比較文化的な視点で捉えながら、それらの文脈といまの自分のプレイを重ねてみることで、もう一つ深い視点でサッカーを楽しむことができると考えています。

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

出席状況・授業に取り組む姿勢等を総合的に評価する

### [Textbooks]

Not used

### [References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

オリエンテーション時に説明を行う。

### [Other information (office hours, etc.)]

オリエンテーションは体育館で実施する。

2回目以降は農学部グラウンドで実施する。

学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ加入しておくこと。